

平成 20 年度 事業報告書

学校法人 桜花学園

I 法人の概要（平成 21 年 3 月 31 日現在）

1. 設置する学校・学部・学科等

- (1) 桜花学園大学 大学院 人間文化研究科
人文学部 人間関係学科・国際文化学科・観光文化学科
保育学部 保育学科
- (2) 名古屋短期大学 保育科・英語コミュニケーション学科・現代教養学科
- (3) 桜花学園高等学校 全日制課程普通科
- (4) 名古屋短期大学附属幼稚園

2. 当該学校・学部・学科等の入学者数、学生数の状況（平成 20 年 5 月 1 日現在）

（単位：人）

学 校 名	学部・学科・課程名	入学 定員	入学 者数	収容 定員	学生数	前年比 増減
桜花学園大学	大学院人間文化研究科	10	7	20	16	-4
	人文学部人間関係学科	65	19	380	146	-29
	人文学部国際文化学科	35	15	256	110	-8
	人文学部観光文化学科	50	19	226	136	-6
	保育学部保育学科	145	156	450	487	73
	計	305	216	1,332	895	26
名古屋短期大学	保 育 科	240	270	480	528	6
	英語コミュニケーション学科	80	73	160	157	-27
	現 代 教 養 学 科	105	135	210	270	-5
	専攻科 保育専攻	10	12	20	17	-2
	専攻科 英語専攻	7	7	14	9	7
	計	442	497	884	981	-21
桜花学園高等学校	全日制課程普通科	500	447	1,500	1,107	121
名古屋短期大学附属幼稚園	3・4・5歳児	104	98	314	285	4
合 計		1,351	1,258	4,030	3,268	130

3. 役員・評議員・教職員の概要

(1) 役員

役員の定数 及び実数等	定 数	実 数		任 期
		常 勤	非常勤	
理事	9人	5人	4人	4年
監事	2人	0人	2人	4年

(2) 評議員

評議員の定数 及び実数等	定 数	実 数		任 期
		常 勤	非常勤	
評議員	19～25人	8人	13人	4年

(3) 教職員数（平成20年5月1日現在）

所 属		教 員			職 員			合計 人数
		専任	非常勤	計	専任	非常勤	計	
大 学 桜花学 園	人文学部	26	53	79	12	8	20	99
	保育学部	20	36	56	6	3	9	65
	計	46	89	135	18	11	29	164
大 学 名 古 屋 短 期	保育科	16	40	56	6	2	8	64
	英語コミュニケーション学科	8	35	43	6	2	8	51
	現代教養学科	12	34	46	6	3	9	55
	計	36	109	145	18	7	25	170
桜花学園高等学校		57	49	106	8	3	11	117
名古屋短期大学附属幼稚園		12	5	17	3	0	3	20
法人本部		0	0	0	11	0	11	11
合 計		151	252	403	58	21	79	482
前年比増減		6	-25	-19	0	-5	-5	-24

4. 建学の理念

「人間性豊かな気品に富んだ近代女性の育成」を建学の精神として、常に社会の要請に応え、時代をリードする情操豊かな信念を持った女性の育成を図る。

5. 法人の沿革

明治36年	桜花義会看病婦学校	創立
大正12年	桜花高等女学校	創立
昭和30年	名古屋短期大学 保育科	設置
昭和42年	名古屋短期大学附属幼稚園	設置
昭和51年	名古屋短期大学 英語科	設置
昭和57年	名古屋短期大学 教養科	設置
平成 2年	豊田短期大学 人間関係学科、日本文化学科	設置
平成 6年	名古屋短期大学専攻科(保育専攻)学位授与機構	認定
平成 9年	豊田短期大学 募集停止	
平成10年	桜花学園大学 人文学部 人間関係学科、比較文化学科	設置

平成14年	桜花学園大学 保育学部 保育学科	設置
	桜花学園大学大学院 修士課程 人間文化研究科	設置
	人間科学専攻（修士課程）、地域文化専攻（修士課程）	
	収益事業 廃止	
平成15年	桜花学園大学 人文学部 観光文化学科	設置
	桜花学園大学の比較文化学科を国際文化学科に学科名変更	

II 事業の概要

1. 主な施設設備の整備状況

(1) 桜花学園大学

体育館遮光カーテン取替及び建具修繕

(2) 名古屋短期大学

1・2・6号館空調設備更新

7号館南西面グラウンド造園芝張り他整備

構内道路舗装及びマンホール改修

構内看板取替

校地南隣接地 **48番13** 取得

構内防犯対策

敷地境界測量業務

構内予備配管埋設

(3) 桜花学園高等学校

体育センター北館 **B1F**空調設備更新

資料センター改修

桜堂記念館改修

桜堂記念館 テレビ更新

桜堂記念館 机・椅子・ロッカー購入

(4) 名古屋短期大学附属幼稚園

1号館及び**3**号館屋根改修

正面内扉更新

園舎窓ガラス飛散防止フィルム貼り

敷地内「水路土地」約 **55** m²取得

スクールバスカーポート建築

2. 教育事業

(1) 桜花学園大学

① 教育活動

(ア) 大学院

- ・今年度も新入院生、在学院生へのオリエンテーション・ガイダンスを充実させ、履修計画、修士論文への意識付けを行った。
- ・年度当初に、修士論文執筆の2年生だけでなく、1年生にも希望する課題研究のテーマ、主指導教員、副指導教員を決め、文書で提出させた。

(イ) 人文学部

- ・今年度も、新学期における学生サービス強化月間（4～5月）として、各学科学年在学生へのオリエンテーション・ガイダンスを充実させ、年間及び前期の履修計画・単位修得・資格取得等の指導を集中的に行った。又、後期開始前において各学科学年ごとにオリエンテーション・ガイダンスを実施し履修計画・単位修得等の指導を行った。特に3年・4年生についてゼミ及び論文指導をあわせて行った。
- ・授業の内容及び方法の改善を図るため、前期・後期各1回「学生による授業評価アンケート」を行い全教員講義方法の改善の参考とした。
- ・又松大学への語学研修生は12名（人文学部10名・保育学部2名）であった。
- ・又松大学からの語学研修生は人文学部6名・編入生18名（国際文化学科8名・観光文化学科10名）となった。
- ・資格取得に関しては、教員免許状（高1種）11名・（中1種）4名、司書教諭2名、図書司書15名、学芸員14名、社会主事4名等一定の成果をみることができた。
- ・学生に対するハラスメント防止のため、全教職員に対して啓発活動を行い、意見箱を設置するなどして万全の対策をした。
- ・防災非難訓練については、例年通り地元消防署の協力を得て実施し学生の防災意識の高揚を図った。
- ・進路指導については、学生支援課及び教職員を中心としたきめの細かい指導をしたが、最終就職率82%となった。
- ・後援会の協力を得て、クラブ活動、秋桜祭、各種学生生活動等に活躍した学生に対し卒業式の前日にその功績を表彰した。
- ・謳歌議会や秋桜祭など学生主導に対し側面からの助言等を行うことによつて、学生生活充実のための支援を行った。

(ウ) 保育学部

- ・平成21年度から桜花学園大学の本部を豊田キャンパスから名古屋キャンパスに移転することとした。
- ・平成21年度から大学本部の移転に伴い、大学事務と短大事務の一括運営をするための、事務組織の円滑な運営を目的として、総務部・学務部・入試広報部・豊田事務部の4部体制に変更することとした。
- ・保育学部の中期目標（平成18年度～平成22年度までの5ヵ年目標）の第3年度であり、新生保育学部（定員増、小学校教諭1種免許状の課程設置、大学院における幼稚園教諭専修免許状の課程設置）の第2年度にあたり、特に小学校教諭1種免許状の課程に伴う新設授業科目の多くが開講さ

れる年度であり、その支障のない実施を基本として学部運営をしてきた。平成20年度の学部の教学運営の検証を通して、継続的な改善を図っていくことが課題といえる。

- ・ 保育学部の教育理念である「参加・共同・創造」は、学部の教育活動の中でゼミを基盤としたチュートリアルシステムと結びついて、学生の主体的で能動的な自己開発・相互開発の多面的な活動を支える教育理念として学部創設以来一貫して機能してきているが、平成20年度も、保育学部フォーラムをはじめ、学部学生卒業式、修学旅行等の学生主体による多様な活動が展開された。学生数の増加等の新しい条件の下で、より充実した学生の大学生生活を創造していく上から、課題の問い直しの必要性が見えてきた年でもある。
- ・ 東海厚生局による保育士養成課程に関する指導調査が、本学部を対象に平成20年9月3日に実施された。施設実習における実習時間の基準どおりの確保、他大学での既修得単位の認定に関する「指定保育士養成施設指定基準」に定める基準の学則等への明記、さらには入学者の定員超過の改善等について指導を受け、改善にむけた取り組みを進めた。
- ・ 教育・授業改善としては、大学暦の適切な編成、15週にわたる授業開講、演習科目の50人以下での授業運営、学生の授業への出欠席の管理の徹底などが継続的に取り組まれている。
- ・ 保育学部の教育研究活動の小学校教員養成の分野への広がりとも関連して、豊明市教育委員会との教育的連携の覚書が2007年3月に調印されているが、2009年3月3日には、豊田市教育委員会との同様の連携に関する協定の調印が行われた。そのような課題への対応は今後ますます必要性を高めていくものと考えられる。愛知県現任保育士研修では、主任保育士研修の会場校として、平成20度も引き続きその責任を果たすことができた。
- ・ 学生参加型の体験学習の多様で豊かな機会を実現することは一貫した保育学部の重要な教育課題であるが、平成20年度も芸術文化鑑賞、海外幼児教育研修等の事業を実施した。これまで保育学部の学生が多数参加していた海外インターンシップを平成20年度は保育学部の授業科目として位置づけ実施した初年度である。

(2) 名古屋短期大学

① 機関別第三者評価の結果について

平成20年9月18日・19日に(財)短期大学基準協会の第三者評価を受審した結果、平成21年3月24日付けで適格と認められました。

評価領域1～10まで全て適格と認められました。

② 「教育目標・計画」の総括

平成20年度は、英語コミュニケーション学科において若干入学定員を下回ったものの、全体の入学者数としてはほぼ満足できる結果であった。卒業生の就職状況も、不況下ながら前年度と同等の結果を残すことができ、満足できるものであった。授業(各種実習を含む)、海外研修、各種学生セミナー等も初期の目標を達成したと思われる。

(3) 桜花学園高等学校

① 教育目標への取り組み

(ア) 「学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク」訓練の実施

5月29日 愛知県からの緊急情報(架空)により、対策委員会を開催し、全校生徒への告知及び、該当地域の生徒への指導を訓練として実施。

(イ) 通学調査の実施

5月 登下校時の安全実態調査を行い、通学に不安を抱える生徒に面談を実施。

② 第1学年

(ア) 特別学力補充講座

中学校の基礎学力が不足している者に対して、中学校の基礎復習を中心に、国語・数学・英語の講座を、それぞれ週1回、1学期間実施。

(イ) 総合学習

- ・ 浴衣の着付け教室(1クラス4時間、6月)
- ・ 桜花学園大学人文学部の先生方による講義(9~10月)
- ・ 茶道教室(1クラス12~13時間、10~2月)

(ウ) キャリアガイダンス

8月20日 進路講演会后、職業別(9種類)に分かれて、卒業生、大学、専門学校等の各講師よりキャリアガイダンス実施。

(エ) 長期休業中の補習等

- ・ 夏期進学補習、冬期進学補習、春期進学補習を進学コース、特進コースで実施。
- ・ 学習合宿 8月3日~8月7日まで、長野県車山高原で、特進・選抜クラス対象に実施。
- ・ 小論文指導 夏期講座を利用して、小論文指導、小論文模試を実施。

(オ) 検定への取り組み

- ・ 1学年では、全員3級合格を目標として、年3回実施の漢字検定、英語検定をそれぞれ積極的に受検させた。
- ・ 検定前対策一講座や課題プリントを配布。外部講師を招いて、英検対策講習実施。
- ・ 検定の成果(平成21年3月現在、取得最上位級の人数)

	2級	準2級	3級	4級以下
英 検	4名	96名	273名	68名
漢 検	5名	92名	217名	127名

③ 第2学年

(ア) 総合学習

茶道教室(4/20~) 英会話教室(9/10~)

(イ) 長期休業中の補習

- ・ 夏期進学補習、冬期進学補習、春期進学補習を実施
- ・ 学習合宿(8/3~7) 長野県車山高原で、特進・選抜クラス対象に実施。
- ・ 小論文指導 夏期講座を利用して、小論文模試を実施(8/21, 3/11)

(ウ) 検定への取り組み

- ・ 2年生では、準2級取得を目標として、漢字検定、英語検定を積極的に受

検させた。

- ・ 英検対策—英語の授業の他に各級対策講座を実施。第2回目は修学旅行のため受検できず、英検各級レベル試験を実施。
- ・ 漢検対策—対策プリントを配布。3学期には準2級レベルの漢字コンクールを実施。
- ・ 検定の成果（平成21年3月現在取得最上位級の人数）

	準1級	2級	準2級	3級	4級以下
英 検		14名	135名	167名	44名
漢 検	1名	41名	154名	97名	67名

④ 第3学年

(ア)夏期休業中の取り組み

- ・ 夏期講座（面接指導、進路ガイダンス、学習会）
- ・ 短期勉強会（60分授業3日間）
- ・ 進学補習（60分授業を1日2～6コマ受講、その後自学自習）

(イ)冬期休業中

- ・ 一般入試受験者—進学補習
- ・ 推薦入試合格者—英検、漢検対策
- ・ 保育講座(2月)—保育系進学者対象に60分授業4コマ4日間実施

(ウ)検定への取り組み

- ・ 検定の成果（平成21年3月現在、取得最上位級の人数）

	2級	準2級	3級	4級以下
英 検	19名	137名	91名	43名
漢 検	41名	132名	51名	64名

⑤ 学校評価

(ア)保護者へのアンケート

- ・ 平成20年7月に、保護者へのアンケートを実施した。アンケート回収率は86%で、父親が回答する家庭も微増した。

(イ)教職員へのアンケート

- ・ 平成20年10月に、学校全体や各分掌が今年度取り組んでいる重点目標の達成度について、各教職員に5段階評価を実施してもらった。この学校評価（自己評価）により、他の部署からの指摘で気が付いた課題がくっきりと浮かび上がってきた。

(ウ)卒業生学校満足度アンケート

- ・ 卒業式前日に、卒業生に対して、学校満足度アンケートを実施した。「高校生活に満足していますか」という質問については、「不満」と回答した者は6%で、94%の生徒が「満足」している。

⑥ その他

(ア)図書館とその有効活用

- ・ 書庫整理と蔵書データ化を推進し（現在24,000冊）、また、各コーナーの充実を図り、利用しやすい図書館作りに努めた。

(イ)国際交流

- ・ ニュージーランドハミルトン語学研修 生徒22名 引率教員1名

- ・ オーストラリアシドニー語学研修 生徒 13名 引率教員 1名
- ・ カナダブリティッシュコロンビア州語学研修 生徒 17名 引率教員 1名
- ・ オーストラリアカンバラ校より短期留学生 2名受け入れ

(4) 名古屋短期大学付属幼稚園

① 指導と運営

- (ア)保護者と緊密な連絡をとり、信頼関係を築きながら教育目標や教育課程に示された総合的な教育の達成を図った。
- (イ)教職員相互の信頼を基盤とし、協力一致の態勢の確立を目指した。
- (ウ)学年主任を中心とする各年齢のねらいの達成に努めた。
- (エ)日々の朝礼、終礼の連絡会で園児一人一人の情報を共有し、一貫した指導ができるよう教員相互の連絡を密にした。
- (オ)四季の花や畑の野菜の栽培、小動物の飼育等子どもと共に行うなど自然や生物に親しむ環境整備に努めた。栽培では、さつまいものクッキング調理を大学の調理室を借りて保育科の協力で行い、交流も深められた。
- (カ)豊明市の指導で連れ去りの被害に遭わないなど適切な行動がとれるよう防犯教室を実施した。
- (キ)不審者侵入防止に園児の送迎には保護者が必ず名札の着用をするよう徹底した。

② 「英語で遊ぶ」体験

- (ア)英語でふれることの楽しさを遊びの中で体験するプログラム。
- (イ)講師 桜花学園大学准教授 Jennifer Edwards
- (ウ)対象 年中（3クラス）、年長（3クラス）
- (エ)方法と内容 各クラス 10分 全10回
 - ・ トピック color、food、holidays
 - ・ 絵付カードを使ったり、ジェスチャー、ゲーム、英語の歌など。

③ 親子読書の実践

- (ア)家庭における親子のふれ合いを深める読み聞かせを推進。実践者も多く好評を得ている。

④ 幼稚園評価

- (ア)教員が保育に対する自己評価（26項目）を行い、問題点を全員で検討して自己反省し、教育水準の向上に務めた。
- (イ)保護者による評価をアンケートで実施した。その結果、本園の運営に対しておおむね現状維持でよいとの賛同を得たが、次の2点を改善した。
 - ・ 保育参観日を3学期に1回増
 - ・ 夏期保育を2日増、前半・後半計7日

Ⅲ 財務の概要

平成 20 年度の消費収支計算書のうち、帰属収入は、**3,776,999** 千円で予算を **26,481** 千円上回り、対前年比では **2,381,522** 千円の減少となりました。ただし、前年度の帰属収入に含まれている土地信託物件の売却による売却差額 **2,513,605** 千円を除き、対前年比 **132,083** 千円の増加であります。

内訳は、学生生徒等納付金 **2,603,885** 千円（対前年比 **38,011** 千円）、補助金 **719,738** 千円（対前年比 **63,531** 千円）、資産運用収入 **117,418** 千円（対前年比 Δ **7,316** 千円）、事業収入 **111,768** 千円（対前年比 Δ **9,023** 千円）及び雑収入 **149,682** 千円（対前年比 **49,719** 千円）が主たるものであります。

消費支出は、**4,759,781** 千円で対前年比 **729,495** 千円の増加となりました。主たる要因は、保有している有価証券の参考時価が取得価額に比して 50%以上下落した有価証券評価差額 **99,788** 千円及び減価償却引当資産評価差額 **675,720** 千円を計上した事にあります。

本年度は消費支出超過額 **1,036,906** 千円となりました。

資金収支計算書について、本年度の施設関係支出は **125,598** 千円、設備関係支出は **65,351** 千円であります。上記に対応した借入金を行わず、自己資金を充当しております。

次年度繰越支払資金は、予算比 **124,246** 千円増加し、**2,413,123** 千円となりました。また、資産総額（正味財産）は、**19,922,468** 千円となりました。

貸借対照表

平成21年3月31日

(単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	18,751,181,286	19,327,404,137	△ 576,222,851
有形固定資産	16,852,192,566	17,051,270,691	△ 199,078,125
土地	5,973,691,640	5,955,756,640	17,935,000
建物	8,983,308,873	9,212,543,266	△ 229,234,393
構築物	469,824,848	479,135,697	△ 9,310,849
教育研究用機器備品	335,282,448	330,923,645	4,358,803
その他の機器備品	20,249,041	20,328,769	△ 79,728
図書	1,065,513,398	1,047,964,676	17,548,722
車輜	4,322,318	4,617,998	△ 295,680
その他の固定資産	1,898,988,720	2,276,133,446	△ 377,144,726
電話加入権	2,909,596	2,909,596	0
差入保証金	17,049,500	17,231,500	△ 182,000
退職給与引当資産	400,000,000	400,000,000	0
減価償却引当資産	1,150,280,000	1,826,000,000	△ 675,720,000
施設利用権	19,219,624	20,462,350	△ 1,242,726
その他の投資	9,530,000	9,530,000	0
有価証券	300,000,000	0	300,000,000
流動資産	3,335,666,897	4,023,441,422	△ 687,774,525
現金預金	2,413,122,794	3,103,413,019	△ 690,290,225
未収入金	898,083,179	892,559,528	5,523,651
貯蔵品	382,725	317,100	65,625
前払金	24,078,199	27,151,775	△ 3,073,576
資産の部合計	22,086,848,183	23,350,845,559	△ 1,263,997,376

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,401,400,077	1,546,817,011	△ 145,416,934
長期借入金	665,279,608	814,165,168	△ 148,885,560
退職給与引当金	736,120,469	732,651,843	3,468,626
流動負債	762,979,980	898,778,403	△ 135,798,423
一年以内に返済する長期借入金	272,060,460	298,699,436	△ 26,638,976
未払金	167,030,448	175,606,922	△ 8,576,474
前受金	270,202,738	373,793,998	△ 103,591,260
預り金	23,975,503	25,330,467	△ 1,354,964
修学旅行積立金預り金	29,710,831	25,347,580	4,363,251
負債の部合計	2,164,380,057	2,445,595,414	△ 281,215,357
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	24,162,064,100	24,142,834,842	19,229,258
第4号基本金	302,000,000	302,000,000	0
基本金の部合計	24,464,064,100	24,444,834,842	19,229,258
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	4,541,595,974	3,539,584,697	1,002,011,277
消費収支差額の部合計	△ 4,541,595,974	△ 3,539,584,697	△ 1,002,011,277
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	22,086,848,183	23,350,845,559	△ 1,263,997,376

消費収支計算書

平成20年4月 1日から
平成21年3月31日まで

(単位:円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	2,607,085,000	2,603,884,950	3,200,050
手 数 料	67,766,000	64,985,060	2,780,940
寄 付 金	5,744,000	9,522,287	△ 3,778,287
補 助 金	705,479,000	719,738,156	△ 14,259,156
国 庫 補 助 金	156,534,000	170,404,000	△ 13,870,000
大 学 改 革 推 進 等 補 助 金	18,874,000	18,874,000	0
地 方 公 共 団 体 補 助 金	530,071,000	530,460,156	△ 389,156
資 産 運 用 収 入	117,946,000	117,418,191	527,809
事 業 収 入	112,418,000	111,768,424	649,576
雑 収 入	134,080,000	149,681,865	△ 15,601,865
帰 属 収 入 合 計	3,750,518,000	3,776,998,933	△ 26,480,933
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 61,184,000	△ 54,124,150	△ 7,059,850
消 費 収 入 の 部 合 計	3,689,334,000	3,722,874,783	△ 33,540,783

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	2,447,579,300	2,433,794,094	13,785,206
教 育 研 究 経 費	1,181,541,513	1,102,503,063	79,038,450
管 理 経 費	466,329,241	411,325,137	55,004,104
借 入 金 等 利 息	4,761,000	4,751,237	9,763
資 産 処 分 差 額	111,240,017	801,959,011	△ 690,718,994
徴 収 不 能 引 当 金 繰 入 額	5,448,410	5,448,410	0
[予 備 費]	(35,179,481) 14,820,519		14,820,519
消 費 支 出 の 部 合 計	4,231,720,000	4,759,780,952	△ 528,060,952
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	542,386,000	1,036,906,169	
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	3,539,585,000	3,539,584,697	
基 本 金 取 崩 額	26,050,000	34,894,892	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	4,055,921,000	4,541,595,974	

資金収支計算書

平成20年4月 1日から
平成21年3月31日まで

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,607,085,000	2,603,884,950	3,200,050
手数料収入	67,766,000	64,985,060	2,780,940
寄付金収入	4,585,000	6,199,815	△ 1,614,815
補助金収入	705,479,000	719,738,156	△ 14,259,156
国庫補助金収入	156,534,000	170,404,000	△ 13,870,000
大学改革推進等補助金収入	18,874,000	18,874,000	0
地方公共団体補助金収入	530,071,000	530,460,156	△ 389,156
資産運用収入	117,946,000	117,418,191	527,809
資産売却収入	99,859,000	99,858,950	50
事業収入	112,418,000	111,768,424	649,576
雑収入	117,689,000	133,269,225	△ 15,580,225
借入金等収入	123,157,000	123,174,900	△ 17,900
前受金収入	287,365,000	270,202,738	17,162,262
その他の収入	265,893,000	269,108,791	△ 3,215,791
資金収入調整勘定	△ 594,117,000	△ 649,431,949	55,314,949
前年度繰越支払資金	3,103,413,000	3,103,413,019	△ 19
収入の部合計	7,018,538,000	6,973,590,270	44,947,730

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	2,427,698,034	2,413,912,828	13,785,206
教 育 研 究 経 費 支 出	800,180,693	740,105,550	60,075,143
管 理 経 費 支 出	454,430,241	405,654,495	48,775,746
借 入 金 等 利 息 支 出	4,761,000	4,751,237	9,763
借 入 金 等 返 済 支 出	298,700,000	298,699,436	564
施 設 関 係 支 出	126,318,850	125,598,018	720,832
設 備 関 係 支 出	74,947,000	65,351,472	9,595,528
資 産 運 用 支 出	500,000,000	499,536,578	463,422
そ の 他 の 支 出	202,843,964	201,040,085	1,803,879
[予 備 費]	(32,035,782) 17,964,218		17,964,218
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 178,183,000	△ 194,182,223	15,999,223
次 年 度 繰 越 支 払 資 金	2,288,877,000	2,413,122,794	△ 124,245,794
支 出 の 部 合 計	7,018,538,000	6,973,590,270	44,947,730

財務比率

【消費収支計算書関係比率】

科目	年度	算式 (× 100)	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
			(決算)	(決算)	(決算)	(決算)
学生生徒等納付金比率		$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	67.3%	71.0%	41.7%	68.9%
補助金比率		$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	20.4%	16.9%	10.7%	19.1%
人件費比率		$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	63.1%	66.2%	38.4%	64.4%
教育研究経費比率		$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	25.8%	28.1%	17.1%	29.2%
消費支出比率		$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	112.9%	110.1%	65.4%	126.0%

【貸借対照表関係比率】

科目	年度	算式 (× 100)	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
			(決算)	(決算)	(決算)	(決算)
固定比率		$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	104.9%	106.1%	92.5%	94.1%
固定長期適合比率		$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}}$	90.6%	92.4%	86.1%	87.9%
流動比率		$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	360.6%	287.0%	447.7%	437.2%
総負債比率		$\frac{\text{総負債}}{\text{負債}}$	16.7%	16.4%	10.5%	9.8%
自己資金構成比率		$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	83.3%	83.6%	89.5%	90.2%

自己資金 = 基本金 + 消費収支差額

総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額

財 産 目 録

科 目	年 度	平成20年度末
I 資産総額		22,086,848,183 円
(一) 基本財産		16,803,464,027 円
1 土地	181,049.34 m²	5,915,612,941 円
法人本部	528.09	412,000,000
桜花学園大学(人文学部)	77,736.00	1,882,079,750
名古屋キャンパス	68,767.39	2,161,611,437
桜花学園高校	12,802.86	1,293,480,317
桜花学園高校(美杉学舎)	14,342.00	118,649,002
名古屋短期大学附属幼稚園	6,873.00	47,792,435
2 建物	60,642.38 m²	8,976,709,813 円
3 構築物	693 点	469,824,848 円
4 図書	304,963 冊	1,065,513,398 円
5 教具・校具・備品	21,648 点	355,531,489 円
6 車輛	15 台	4,322,318 円
7 電話加入権	44 点	2,909,596 円
8 施設利用権	5 点	13,039,624 円
(二) 運用財産		5,283,384,156 円
1 現金預金		2,413,122,794 円
2 積立金		1,550,280,000 円
3 未収入金		898,083,179 円
4 土地	645.07 m²	58,078,699 円
5 有価証券		300,000,000 円
6 その他の運用財産		63,819,484 円
II 負債総額		2,164,380,057 円
(一) 固定負債		1,401,400,077 円
1 長期借入金		665,279,608 円
〔愛知県私学振興事業団〕		602,779,608
〔三菱東京UFJ銀行〕		62,500,000
2 退職給与引当金		736,120,469 円
(二) 流動負債		762,979,980 円
1 短期借入金		272,060,460 円
2 前受金		270,202,738 円
3 未払金		167,030,448 円
4 預り金		23,975,503 円
5 修学旅行積立金預り金		29,710,831 円

監 査 報 告 書

学校法人 桜花学園
理事会 御中

平成 21 年 5 月 20 日

学校法人 桜花学園

監 事 鈴木 隆 俊

監 事 早 川 忠 孝

私たちは、学校法人桜花学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の平成 20 年度（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会に出席するほか業務の報告を聴取し、決算監査にあたっては、元帳及び証拠書類等の確認を行い監査いたしました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上

監 査 報 告 書

学校法人 桜花学園
評議員会 御中

平成 21 年 5 月 20 日

学校法人 桜花学園

監 事 鈴木 隆 俊

監 事 早 川 忠 孝

私たちは、学校法人桜花学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の平成 20 年度（平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会に出席するほか業務の報告を聴取し、決算監査にあたっては、元帳及び証拠書類等の確認を行い監査いたしました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以 上